

極超音速誘導弾の研究試作

基本情報

組織情報	府省庁	防衛省					
	事業所管課室	防衛省 防衛装備庁 プロジェクト管理部 事業監理官（誘導武器・統合装備担当）					
	作成責任者	米倉和也 岡部幸喜					
	その他担当組織	防衛省 防衛装備庁 技術戦略部 技術計画官					
基本情報	予算事業ID	005884	事業開始年度	2023		事業終了（予定）年度	2031
	事業年度	2025		事業区分	前年度事業		
政策・施策	政策所管	政策		施策		政策体系・評価書URL	
	防衛省	Ⅰ－１ 我が国自身の防衛体制の強化（自衛隊の能力等に関する主要事業）		（１）スタンド・オフ防衛能力		https://www.mod.go.jp/j/policy/hyouka/seisaku/pdf/kihonnkeikaku05.pdf	
	防衛省	Ⅰ－４ 我が国自身の防衛体制の強化（早期装備化のための新たな取組）		（１）早期装備化のための新たな取組		https://www.mod.go.jp/j/policy/hyouka/seisaku/pdf/kihonnkeikaku05.pdf	
	防衛省	Ⅳ－７ いわば防衛力そのものとしての防衛生産・技術基盤		（２）防衛技術基盤の強化		https://www.mod.go.jp/j/policy/hyouka/seisaku/pdf/kihonnkeikaku05.pdf	
関連事業	--			主要経費	防衛関係費		
概要・目的	事業の目的	我が国への侵攻を試みる艦艇や上陸部隊等に対して、自衛隊員の安全を確保しつつ、侵攻を効果的に阻止するために、相手方の脅威圏の外から対処可能なスタンド・オフ防衛能力を持つとともに、極超音速で飛しょうすることにより高い残存性を持つ誘導弾を実現するための研究を行う。					
	現状・課題	着上陸侵攻事態等に際して、相手の脅威圏から離れた地域に展開し、遠方の海域の防空能力が高い相手方の海上目標及び相手の地上目標を攻撃するために、極超音速で飛しょうし、長射程、高い弾頭性能及び残存性を有する誘導弾が必要である。					
	事業の概要	着上陸侵攻事態等に際して、相手の脅威圏から離れた地域に展開し、遠方の海域の防空能力が高い相手方の海上目標及び相手の地上目標を攻撃するために使用する極超音速誘導弾の早期装備化を運用実証型研究により実現する。					
	事業概要URL	https://www.mod.go.jp/j/approach/hyouka/seisaku/2022/pdf/jizen_02_logic.pdf					
根拠法令	法令名			法令番号	条	項	号・号の細分
	防衛省設置法			昭和二十九年法律第百六十四号	第四条	1	十四

関係する計画・通知等	計画・通知名		計画・通知等URL	
	防衛力整備計画（令和４年１２月１６日　国家安全保障会議決定・閣議決定）		https://www.mod.go.jp/j/policy/agenda/guideline/index.html	
実施方法	直接実施			
補助率等	補助対象	補助率	補助上限等	補助率URL
	--	--	--	--
備考	--			

予算・執行

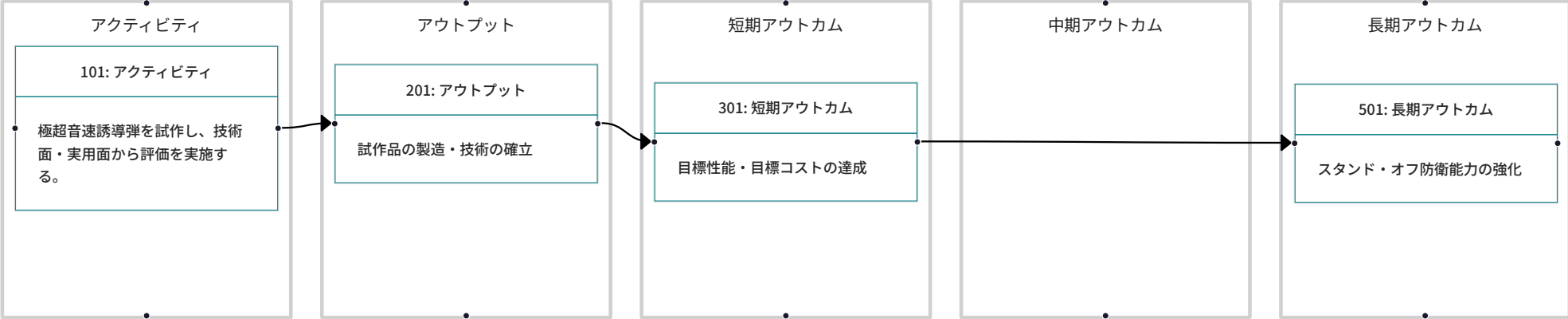
予算額執行額表 (単位：千円)			2022	2023	2024	2025	2026
	要求額		--	0	5,547,000	10,644,830	83,608,071
	当初予算		0	0	5,627,730	10,740,567	84,340,802
	補正予算		--	--	--	--	--
	前年度から繰越し		--	--	--	--	1,160,500
	予備費等		--	--	1,115,917	△8,300,000	--
	計		0	0	6,743,647	2,440,567	85,501,302
	執行額		--	0	5,616,928	1,569,041	--
	執行率		--	--	83.3%	64.3%	--

予算内訳表 (単位：千円)	会計区分	会計	勘定	要望額		備考		
	一般会計	一般会計	--	--		--		
		予算種別/歳出予算項目			備考		予算額	翌年度要求額
		当初予算 一般会計 / 防衛省 / 防衛装備庁 / 防衛力基盤強化推進費 / 試験研究費			FMS（R 7 年、前金全額）及び開発試験費（R 7 性能確認試験）の当該年度分		10,740,567	25,159,571
		当初予算 一般会計 / 防衛省 / 防衛装備庁 / 防衛力基盤強化推進費 / 試作品費			--		--	58,448,500
		予備費等4 --			--		△8,300,000	--

主な増減理由	事業の進捗に伴い、昨年度と遂行する内容が異なるため。	その他特記事項	--
--------	----------------------------	---------	----

効果発現経路

活動・成果目標等のつながり



アクティビティからの発現経路 101-201-301-501

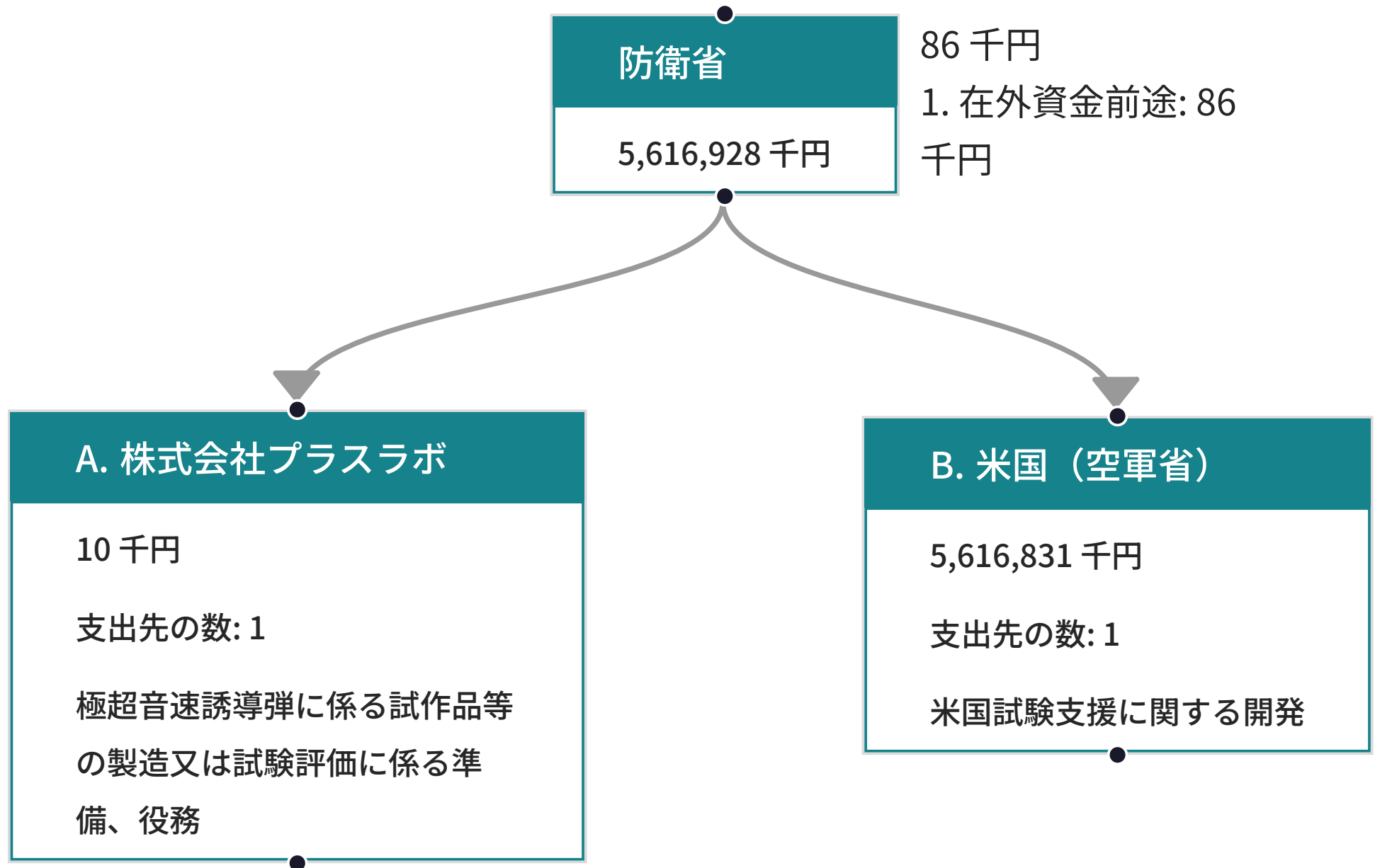
アクティビティ	極超音速誘導弾を試作し、技術面・実用面から評価を実施する。									
アウトプット	活動目標	試作品の製造・技術の確立				活動指標	研究試作の完了数			
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--				実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	国家防衛戦略、防衛力整備計画（令和４年１２月１６日 国家安全保障会議決定及び閣議決定）			
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--				アウトカムを複数段階で設定できない理由	－			
活動・成果目標と実績		2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度
	当初見込み／目標値(件)	0	0	0	1	0	1	1	1	0
	活動実績／成果実績(件)	0	0	--	--	--	--	--	--	--
↓ 後続アウトカムへのつながり	試作品の製造・技術の確立により目標性能・目標コストの達成が見込めることから、短期アウトカムとして設定した。									
短期アウトカム	成果目標	目標性能・目標コストの達成				成果指標	成果報告の数			
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--				実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	国家防衛戦略、防衛力整備計画（令和４年１２月１６日 国家安全保障会議決定及び閣議決定）			
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--				アウトカムを複数段階で設定できない理由	－			
活動・成果目標と実績		2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	目標年度 2031年度
	当初見込み／目標値(件)	0	0	1	1	1	0	1	0	1
	活動実績／成果実績(件)	0	0	--	--	--	--	--	--	--
	達成率(%)	100	100	--	--	--	--	--	--	--
↓ 後続アウトカムへのつながり	目標性能・コスト目標を達成した試作品の完成が、直接スタンド・オフ防衛能力の強化に寄与することから、長期アウトカムとして設定した。									

長期アウトカム	成果目標		スタンド・オフ防衛能力の強化				成果指標		研究事業の完了数		
	定性的なアウトカムに関する成果実績		--				実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）		国家防衛戦略、防衛力整備計画（令和４年１２月１６日 国家安全保障会議決定及び閣議決定）		
	定性的なアウトカム目標を設定している理由		--				アウトカムを複数段階で設定できない理由		－		
活動・成果目標と実績		2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	最終目標年度 2031年度	
	当初見込み／目標値(件)	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	活動実績／成果実績(件)	0	0	--	--	--	--	--	--	--	--
	達成率(%)	100	100	--	--	--	--	--	--	--	--
事業に関連するKPIが定められている閣議決定等	名前		--								
	URL		--								
	該当箇所		--								

点検・評価

事業所管部局による点検・改善	点検結果	1 必要性 事業の目的から、防衛力整備を推進することは、我が国に対する侵略に対応するために必要であり、防衛省で実施することが適切である。		
		2 効率性 極超音速誘導弾の開発という技術的にハードルの高い課題に対処するために、我が国の技術を結集して対処する。		
	3 有効性 本事業により、極超音速誘導弾の早期装備化が可能となるため、有効性が認められる。			
	目標年度における効果測定に関する評価	--		
	改善の方向性	我が国にとって新しい機能を有する装備品を速やかに獲得するため、着実に事業を実施することに留意しつつ、引き続き事業の効率化に努める。		
外部有識者による点検	点検対象	外部有識者による点検対象外	最終実施年度	2024
	対象の理由	--		
	所見	--		
	公開プロセス結果概要	--		
行政事業レビュー推進チームの所見に至る過程及び所見	所見	現状通り	詳細	活動の進捗に伴って、どの程度事業の目的を達成しているかを測定する成果目標及び指標の設定について、引続き努められたい。特に、2024年度外部有識者点検で指摘のあった、短期アウトカムの指標について、目標性能、目標コストに対して試作品がどの程度の達成度を実現したのか評価する成果目標及び指標の設定についても検討されたい。
所見を踏まえた改善点／概算要求における反映状況	改善点・反映状況	現状通り		
	反映額	会計	勘定	反映額 (千円)
		--	--	--
	詳細	現状、中間段階における研究開発成果の評価結果の数に基づいて、目標性能・目標コストの達成度を評価しているため、このような記載をした。		
公開プロセス・秋の年次公開検証（秋のレビュー）における取りまとめ	--			

その他の指摘事項	--
----------	----



支出先上位者リスト (単位：千円)	支出先ブロック名			合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割			
	A	株式会社プラスラボ			10	1	極超音速誘導弾に係る試作品等の製造又は試験評価に係る準備、役務		
		支出先名			支出額	法人番号			
		株式会社プラスラボ			10	3030001136770			
		契約概要（契約名）/契約方式等			支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由	
		e-SIM 随意契約（少額）			10	2	--	--	
	支出先ブロック名			合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割			
	B	米国（空軍省）			5,616,831	1	米国試験支援に関する開発		
		支出先名			支出額	法人番号			
		米国（空軍省）			5,616,831	99999999999999			
		契約概要（契約名）/契約方式等			支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由	
		極超音速誘導弾の研究の米国試験支援に関する開発諸費 随意契約（その他）(FMS)			5,616,831	1	--	FMS調達による日米両政府間の直接取引であり、調達条件等が米国政府によって定められているため。／本契約は、日米相互防衛援助協定に基づく調達であるため。（根拠法令：日米相互防衛援助（MDA）協定）	
費目・使途 (単位：千円)		支出先名	契約概要（契約名）		費目		使途		金額
	B	米国（空軍省）	極超音速誘導弾の研究の米国試験支援に関する開発諸費		米国 有償援助役務費		極超音速誘導弾の研究の米国試験支援に関する開発諸費		5,616,831

国庫債務負担行為等による契約 先リスト (単位：千円)		契約先名	契約額	法人番号		
	A	三菱重工業株式会社	66,792,000	8010401050387		
		契約概要（契約名）/契約方式等	契約額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
		極超音速誘導弾の研究試作（その２） 随意契約（公募）	62,860,600	1	--	他の契約の予定価格を類推されるおそれがあるため
		発射試験用器材 随意契約（公募）	3,931,400	1	--	他の契約の予定価格を類推されるおそれがあるため
		契約先名	契約額	法人番号		
	B	米国（空軍省）	5,616,831	9999999999999		
		契約概要（契約名）/契約方式等	契約額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
		極超音速誘導弾の研究の米国試験支援に関する開発諸費 随意契約（その他）(FMS)	5,616,831	1	--	F M S 調達による日米両政府間の直接取引であり、調達条件等が米国政府によって定められているため。／ 本契約は、日米相互防衛援助協定に基づく調達であるため。（根拠法令：日米相互防衛援助（M D A）協定）

その他備考

--

AI適用システム維持管理のための環境構築の実証に関する経費

基本情報

組織情報	府省庁	防衛省					
	事業所管課室	防衛省 内部部局 整備計画局 サイバー整備課					
	作成責任者	荒心平					
	その他担当組織	--					
基本情報	予算事業ID	005924	事業開始年度	2023	事業終了（予定）年度	2027	
	事業年度	2025		事業区分	前年度事業		
政策・施策	政策所管	政策		施策		政策体系・評価書URL	
	防衛省	Ⅰ－４ 我が国自身の防衛体制の強化（早期装備化のための新たな取組）		（１）早期装備化のための新たな取組		https://www.mod.go.jp/j/policy/hyouka/seisaku/pdf/kihonnkeikaku05.pdf	
関連事業	--			主要経費	防衛関係費		
概要・目的	事業の目的	AI適用システムの性能の維持・向上のために必要な、データ蓄積のためのデータベース、AI学習に適した良質なデータに加工・保存するためのデータストレージ及び繰り返し学習を行うための高性能な計算機リソース環境を構築し、その有効性を実証する。					
	現状・課題	AI適用システムの性能の維持・向上のためには大量の質の良いデータを用いて継続的に学習を行っていくことが必要であり、従来保存していなかったデータや、短期で破棄していたデータも、学習用データとして、蓄積を続けることが重要となる。しかしながら、そうした環境を整備することは急務であるが、各種装備品へのAI適用の加速に伴い、システムごとにAI開発・学習環境を構築するのは、維持管理のための人的リソースも含めて非効率なため、AI関連事業で共通利用可能なAI適用システム維持管理のための環境構築が必要である。					
	事業の概要	部隊において、以下のAI適用システム維持管理環境を構築しその有効性を実証する。 ①装備品のセンサー情報等を蓄積するためのデータベースシステムを構築 ②AI学習に適したデータに加工するためのデータストレージを構築 ③AIの学習及び評価を繰り返し実施するための高性能コンピュータを導入 →防衛省として整備すべきAI基盤の検討に寄与					
	事業概要URL	--					
根拠法令	法令名			法令番号	条	項	号・号の細分
	防衛省設置法			昭和二十九年法律第百六十四号	第四条	1	十三
関係する計画・通知等	計画・通知名						計画・通知等URL
	国家防衛戦略、防衛力整備計画（令和４年１２月１６日安全保障会議決定及び閣議決定）					https://www.mod.go.jp/j/policy/agenda/guideline/index.html	

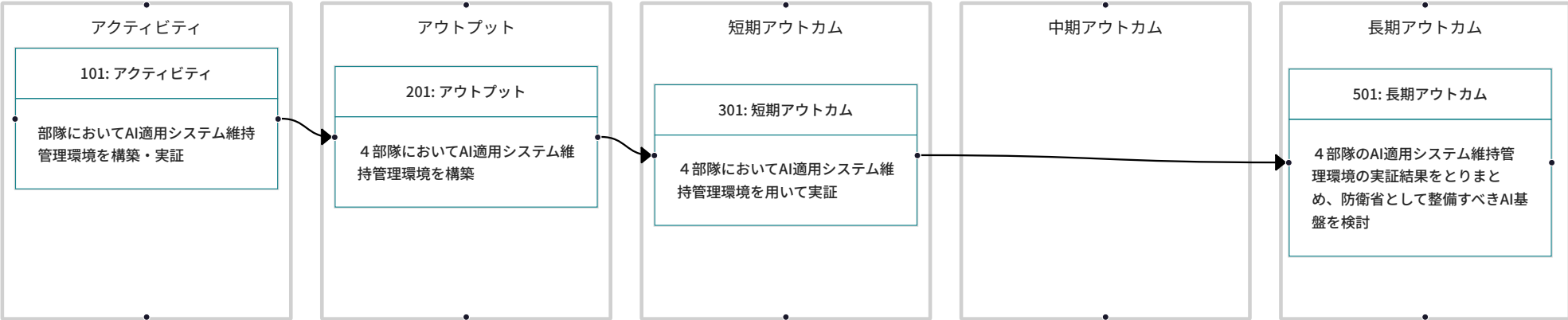
実施方法	直接実施			
補助率等	補助対象	補助率	補助上限等	補助率URL
	--	--	--	--
備考	--			

予算・執行

予算額執行額表 (単位：千円)			2022	2023	2024	2025	2026	
	要求額		--	0	1,136,000	1,054,059	1,104,123	
	当初予算		0	1,319,000	1,133,974	1,054,059	1,104,123	
	補正予算		--	--	--	--	--	
	前年度から繰越し		--	--	--	--	--	
	予備費等		--	△606,135	235,304	--	--	
	計		0	712,865	1,369,278	1,054,059	1,104,123	
	執行額		--	668,432	1,369,277	1,054,059	--	
	執行率		--	93.8%	100%	100%	--	
予算内訳表 (単位：千円)	会計区分	会計	勘定		要望額		備考	
	一般会計	一般会計	--		--		--	
		予算種別/歳出予算項目			備考		予算額	翌年度要求額
		当初予算 一般会計 / 防衛省 / 防衛本省 / 防衛力基盤強化推進費 / 装備品取得等業務効率化推進庁費			--		1,054,059	1,104,123
主な増減理由	--			その他特記事項	--			

効果発現経路

活動・成果目標等のつながり



アクティビティからの発現経路 101-201-301-501

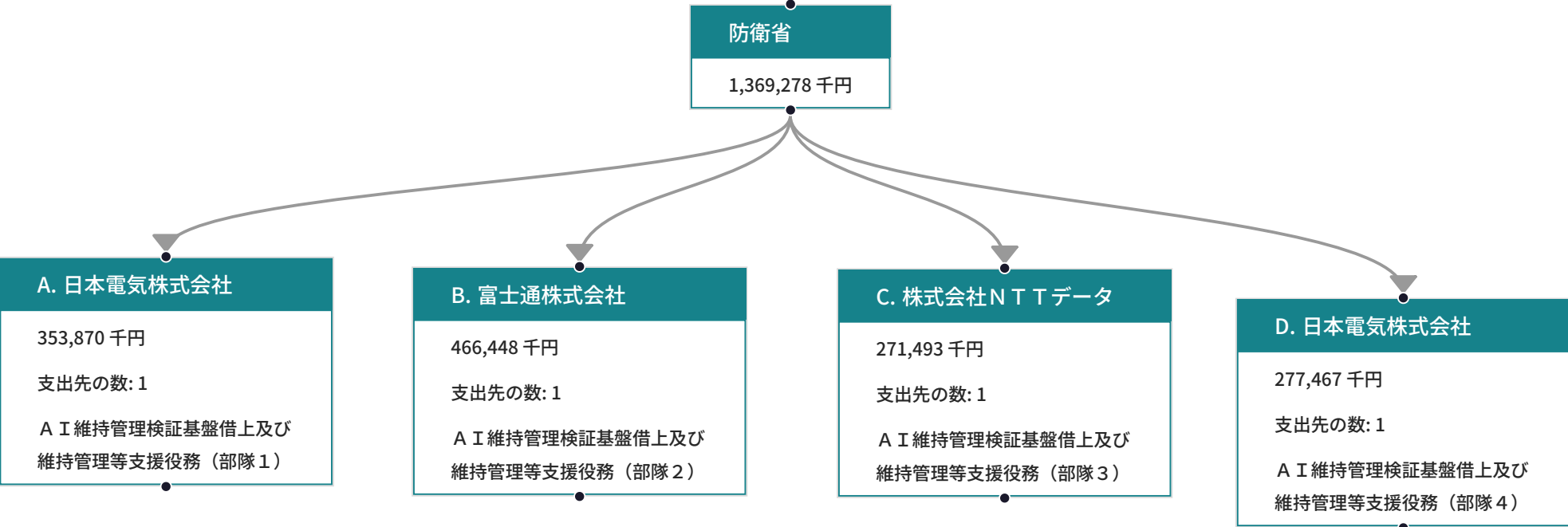
アクティビティ	部隊においてAI適用システム維持管理環境を構築・実証				
アウトプット	活動目標	4 部隊においてAI適用システム維持管理環境を構築		活動指標	システム構築数
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--		実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	4 部隊においてAI維持管理のための環境構築を開始する。
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--		アウトカムを複数段階で設定できない理由	--
活動・成果目標と実績		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
	当初見込み／目標値(システム)	4	4	4	4
	活動実績／成果実績(システム)	4	--	--	--
↓ 後続アウトカムへのつながり	AI適用システム維持管理環境を構築することにより、各部隊がAI適用システム維持管理環境の実証を行えるようにする。				
短期アウトカム	成果目標	4 部隊においてAI適用システム維持管理環境を用いて実証		成果指標	実証部隊数
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--		実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	4 部隊においてAI適用システム維持管理環境を用いて各業務で実証する。
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--		アウトカムを複数段階で設定できない理由	--
活動・成果目標と実績		2024年度	2025年度	2026年度	目標年度 2027年度
	当初見込み／目標値(部隊)	4	4	4	4
	活動実績／成果実績(部隊)	4	--	--	--
	達成率(%)	100	--	--	--
↓ 後続アウトカムへのつながり	AI適用システム維持管理環境の有効性を実証するため、各部隊に構築したAI適用システム維持管理環境の実証結果をとりまとめる。				

長期アウトカム	成果目標	4 部隊のAI適用システム維持管理環境の実証結果をとりまとめ、防衛省として整備すべきAI基盤を検討		成果指標	AI適用システム維持管理環境の実証結果が得られた部隊数	
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--		実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	実証結果を踏まえ、防衛省として整備すべきAI基盤を検討する。	
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--		アウトカムを複数段階で設定できない理由	--	
活動・成果目標と実績			2024年度	2025年度	2026年度	最終目標年度 2027年度
	当初見込み／目標値(部隊)		0	0	0	4
	活動実績／成果実績(部隊)		0	--	--	--
	達成率(%)		100	--	--	--
事業に関連するKPIが定められている閣議決定等	名前	--				
	URL	--				
	該当箇所	--				

点検・評価

事業所管部局による点検・改善	点検結果	本事業は、AI適用システムの早期装備化推進のため、AI適用システム維持管理環境を構築し、継続的な改善点の洗い出し、改修を繰り返し検証を行い、最終的にLCCや代替案分析等を含めて、防衛省として整備すべきAI基盤の体系をまとめるものであり、防衛省・自衛隊におけるＡＩ活用を適切なプロセスで、実効的なものとするため、本役務は必要である。		
	目標年度における効果測定に関する評価	--		
	改善の方向性	継続的に実証を繰り返すことによってAI基盤の改善すべき点を洗い出し、必要に応じて改善を目指していく。		
外部有識者による点検	点検対象	外部有識者による点検対象外	最終実施年度	2024
	対象の理由	--		
	所見	--		
	公開プロセス結果概要	--		
行政事業レビュー推進チームの所見に至る過程及び所見	所見	現状通り	詳細	活動の進捗に伴って、どの程度事業の目的を達成しているかを測定する成果目標及び指標の設定について、引続き努められたい。 装備品の特性として、一定数の随意契約は発生するが、一般競争入札については、競争性確保に向けた取組みを強化されたい。
所見を踏まえた改善点／概算要求における反映状況	改善点・反映状況	現状通り		
	反映額	会計	勘定	反映額 (千円)
		--	--	--
	詳細	引き続き事業の効果を測定するために適切な指標を設定するように努める。		
公開プロセス・秋の年次公開検証（秋のレビュー）における取りまとめ	--			
その他の指摘事項	--			

資金の流れ



支出先上位者リスト
(単位：千円)

支出先ブロック名		合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割		
A	日本電気株式会社	353,870	1	A I 維持管理検証基盤借上及び維持管理等支援役務（部隊 1）		
	支出先名	支出額	法人番号			
	日本電気株式会社	353,870	7010401022916			
	契約概要（契約名）/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由	
	陸自整備補給システムのための A I 維持管理検証基盤借上（陸上自衛隊十条駐屯地）（0 5 新規） 一般競争契約（最低価格）	296,340	1	99.4	--	
	陸自整備補給システムのための A I 維持管理検証基盤における RMF 及びシステム構成支援役務 一般競争契約（最低価格）	57,530	1	99.9	--	
	支出先ブロック名		合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割	
	B	富士通株式会社	466,448	1	A I 維持管理検証基盤借上及び維持管理等支援役務（部隊 2）	
		支出先名	支出額	法人番号		
		富士通株式会社	466,448	1020001071491		
契約概要（契約名）/契約方式等		支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由	
海上航空作戦指揮統制システムのための A I 維持管理検証基盤借上 一般競争契約（最低価格）		244,853	1	99	--	
海上航空作戦指揮統制システムのための A I 維持管理検証基盤の環境構築作業 一般競争契約（最低価格）		171,600	1	99.6	--	
海上航空作戦指揮統制システムのための A I 維持管理検証基盤の維持管理等支援役務 一般競争契約（最低価格）		49,995	1	99.8	--	
支出先ブロック名		合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割		
C	株式会社 N T T データ	271,493	1	A I 維持管理検証基盤借上及び維持管理等支援役務（部隊 3）		
	支出先名	支出額	法人番号			

	支出先ブロック名		合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割	
		株式会社 N T T データ	271,493	6010601062093		
		契約概要（契約名）/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
		音響情報処理サブシステムのための A I 維持管理検証基盤借上（0 5 新規） 一般競争契約（最低価格）	219,878	1	99.9	--
		音響情報処理サブシステムのための A I 維持管理検証基盤の維持管理等支援役務 一般競争契約（最低価格）	51,614	1	99.7	--
	支出先ブロック名		合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割	
	D	日本電気株式会社	277,467	1	A I 維持管理検証基盤借上及び維持管理等支援役務（部隊 4）	
		支出先名	支出額	法人番号		
		日本電気株式会社	277,467	7010401022916		
		契約概要（契約名）/契約方式等	支出額	入札者数	落札率(%)	一者応札等の理由と改善策／落札率非公開の理由
		E P－3 用地上解析装置のための A I 維持管理検証基盤借上（0 5 新規） 一般競争契約（最低価格）	237,657	1	99.9	--
		E P－3 用地上解析装置のための A I 維持管理検証基盤の維持管理等支援役務 一般競争契約（最低価格）	39,810	1	99.2	--

費目・使途 (単位：千円)		支出先名	契約概要（契約名）	費目	使途	金額
	A	日本電気株式会社	陸自整備補給システムのための A I 維持管理検証基盤借上（陸上自衛隊十条駐屯地）（0 5 新規）	借上げ	借上げ	296,340
	B	富士通株式会社	海上航空作戦指揮統制システムのための A I 維持管理検証基盤借上	借上げ	借上げ	244,853
	C	株式会社 N T T データ	音響情報処理サブシステムのための A I 維持管理検証基盤借上（0 5 新規）	借上げ	借上げ	219,878
	D	日本電気株式会社	E P－3 用地上解析装置のための A I 維持管理検証基盤借上（0 5 新規）	借上げ	借上げ	237,657

国庫債務負担行為等による契約 先リスト (単位：千円)		契約先名	契約額	法人番号
		--	--	--

その他備考

--

リアルタイムデジタルツインの試作

基本情報

組織情報	府省庁	防衛省							
	事業所管課室	防衛省 内部部局 防衛政策局 戦略企画参事官							
	作成責任者	高橋杉雄							
	その他担当組織	--							
基本情報	予算事業ID	020471	事業開始年度	2025		事業終了（予定）年度	2028		
	事業年度	2025			事業区分	新規開始事業			
政策・施策	政策所管	政策			施策		政策体系・評価書URL		
	防衛省	Ⅰ－１ 我が国自身の防衛体制の強化（自衛隊の能力等に関する主要事業）			（５） 指揮統制・情報関連機能		https://www.mod.go.jp/j/policy/hyouka/seisaku/pdf/kihonnkeikaku05.pdf		
	防衛省	Ⅰ－４ 我が国自身の防衛体制の強化（早期装備化のための新たな取組）			（１） 早期装備化のための新たな取組		https://www.mod.go.jp/j/policy/hyouka/seisaku/pdf/kihonnkeikaku05.pdf		
関連事業	--				主要経費	防衛関係費			
概要・目的	事業の目的	リアルタイムに各種データの取得/連携/統合/可視化/利活用を実現する省横断的な統合データプラットフォームとしてのデジタルツイン環境の整備による防衛力強化に向けた検証を行う。							
	現状・課題	情報通信技術の進展により現実世界のあらゆる情報がデジタル空間と融合し、作戦の高度化や装備品の多様化が進む昨今において、平時有事を問わず、状況認識、意思決定、行動に至る一連の作戦サイクルのスピードと質の変容に柔軟に対応する必要がある。							
	事業の概要	省横断的にリアルタイムにデータを取得/連携/統合/可視化/利活用する統合データプラットフォームとしてのデジタルツイン環境を、防衛省・自衛隊の各種システムや装備品とデータ連携可能な構成で試作する。指揮統制、施設管理、兵站、教育/訓練、研究/開発等の防衛省・自衛隊の各種業務の高度化・効率化・省人化を目指し、試作環境におけるデータ運用実証を通じて運用課題やコスト等の整理を行った検証結果をもって、今後の発展的な運用に向けた検討の資とすることとする。また本事業は、Ｒ 7 予算において 4 ヶ年の国庫債務負担行為事業（Ｒ 7 ～Ｒ10）として実施予定である。							
	事業概要URL	--							
根拠法令	法令名				法令番号	条		項	号・号の細分
	防衛省設置法				昭和二十九年法律第百六十四号	第四条		1	十三
関係する計画・通知等	計画・通知名				計画・通知等URL				
	国家防衛戦略、防衛力整備計画（令和 4 年 1 2 月 1 6 日 国家安全保障会議決定・閣議決定）				https://www.mod.go.jp/j/policy/agenda/guideline/index.html				

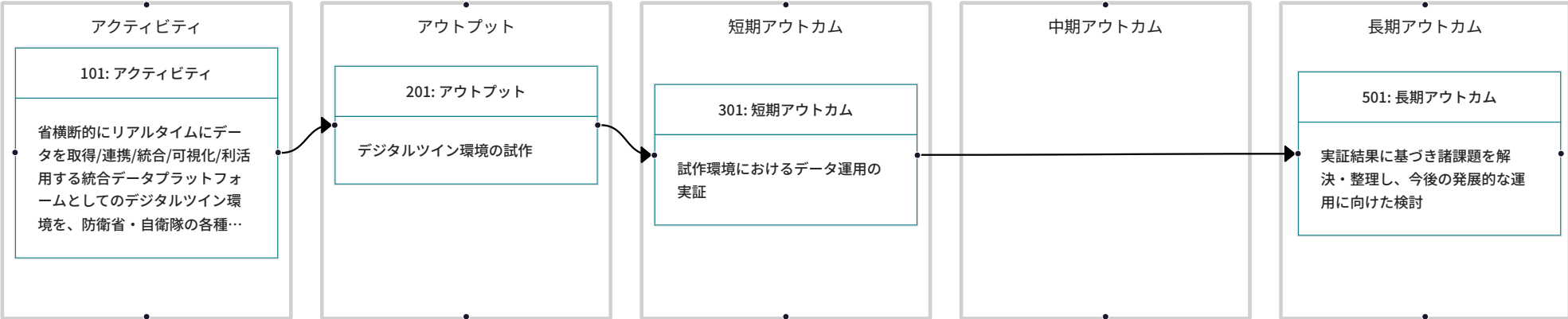
実施方法	直接実施			
補助率等	補助対象	補助率	補助上限等	補助率URL
	--	--	--	--
備考	--			

予算・執行

予算額執行額表 (単位：千円)			2024	2025	2026	
	要求額		--	0	--	
	当初予算		0	0	0	
	補正予算		--	--	--	
	前年度から繰越し		--	--	--	
	予備費等		--	--	--	
	計		0	0	0	
	執行額		--	--	--	
	執行率		--	--	--	
予算内訳表 (単位：千円)	会計区分	会計	勘定	要望額	備考	
	一般会計	一般会計	--	--		
		予算種別/歳出予算項目		備考	予算額	翌年度要求額
		当初予算 一般会計 / 防衛省 / 防衛本省 / 防衛力基盤強化推進費 / 装備品取得等業務効率化推進庁費		--	0	--
主な増減理由	--			その他特記事項	--	

効果発現経路

活動・成果目標等のつながり



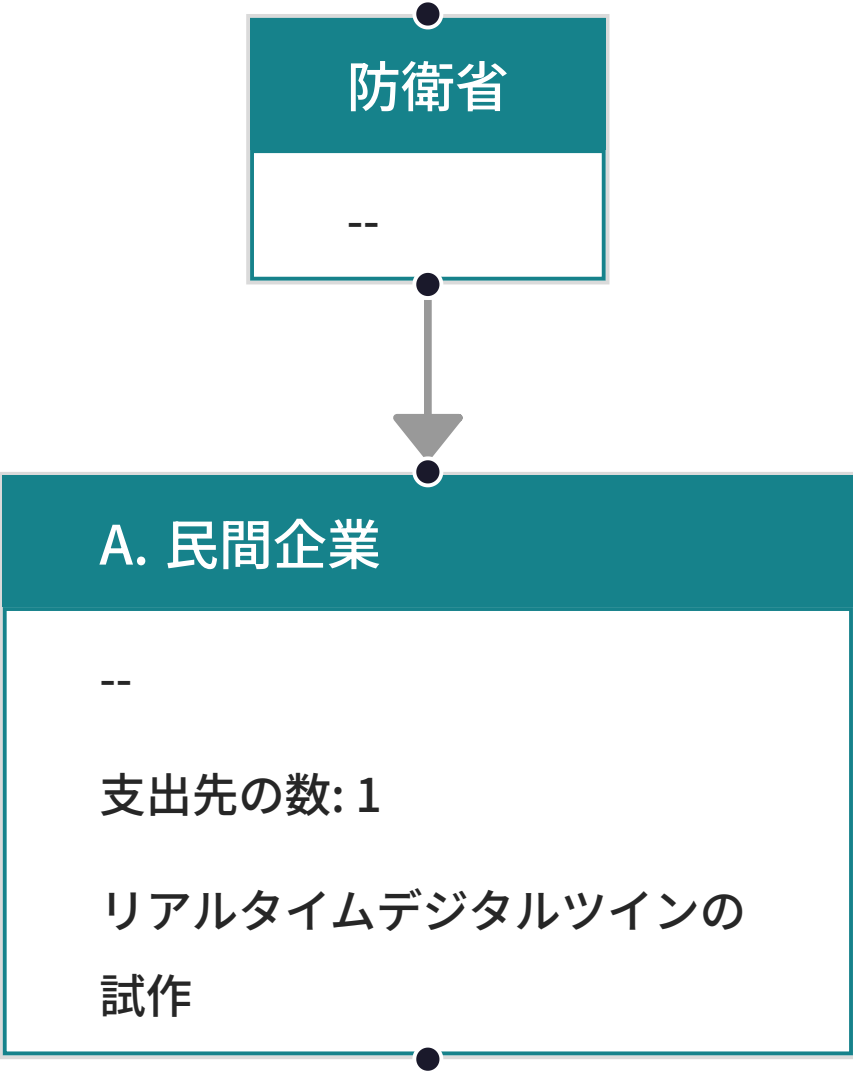
アクティビティからの発現経路 101-201-301-501

アクティビティ	省横断的にリアルタイムにデータを取得/連携/統合/可視化/利活用する統合データプラットフォームとしてのデジタルツイン環境を、防衛省・自衛隊の各種システムや装備品とデータ連携可能な構成で試作する。					
アウトプット	活動目標	デジタルツイン環境の試作		活動指標	試作に係る役務契約	
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--		実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	デジタルツイン環境の試作を行う役務契約予定件数	
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--		アウトカムを複数段階で設定できない理由	--	
活動・成果目標と実績		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
	当初見込み／目標値(件)	--	1	--	--	--
	活動実績／成果実績(件)	--	--	--	--	--
↓ 後続アウトカムへのつながり	試作環境にて、専門的知見を得ながら効果的・効率的なデータ運用の実証を実施する					
短期アウトカム	成果目標	試作環境におけるデータ運用の実証		成果指標	運用実証実施件数	
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--		実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	試作環境におけるデータ運用の実証を行う役務契約予定件数	
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--		アウトカムを複数段階で設定できない理由	--	
活動・成果目標と実績		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	目標年度 2028年度
	当初見込み／目標値(件)	--	--	--	--	1
	活動実績／成果実績(件)	--	--	--	--	--
	達成率(%)	--	--	--	--	--
↓ 後続アウトカムへのつながり	デジタルツイン環境の運用課題やコスト等の諸課題について、運用実証結果をもとに整理・解決し、今後の本格運用につなげる					

長期アウトカム	成果目標	実証結果に基づき諸課題を解決・整理し、今後の発展的な運用に向けた検討			成果指標	調査報告書	
	定性的なアウトカムに関する成果実績	--			実績／目標／見込みの根拠として用いた統計・データ名（出典）	運用実証結果に基づく調査研究の契約予定件数	
	定性的なアウトカム目標を設定している理由	--			アウトカムを複数段階で設定できない理由	--	
活動・成果目標と実績		2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	最終目標年度 2028年度	
	当初見込み／目標値(件)	--	--	--	--	1	
	活動実績／成果実績(件)	--	--	--	--	--	
	達成率(%)	--	--	--	--	--	
事業に関連するKPIが定められている閣議決定等	名前	--					
	URL	--					
	該当箇所	--					

点検・評価

事業所管部局による点検・改善	点検結果	情報通信技術の進展により現実世界のあらゆる情報がデジタル空間と融合し、作戦の高度化や装備品の多様化が進む昨今において、平時有事を問わず、状況認識、意思決定、行動に至る一連の作戦サイクルのスピードと質の変容に柔軟に対応する必要がある。そのためリアルタイムに各種データの取得/連携/統合/可視化/利活用を実現する省横断的な統合データプラットフォームとしてのデジタルツイン環境の整備により防衛力強化を目指す本事業は必要である。		
	目標年度における効果測定に関する評価	--		
	改善の方向性	情報通信技術の進展に対応するための事業であり、計画通りに進めることで、防衛省・自衛隊の各種業務の高度化・効率化・省人化に努める。		
外部有識者による点検	点検対象	外部有識者による点検対象外	最終実施年度	--
	対象の理由	--		
	所見	--		
	公開プロセス結果概要	--		
行政事業レビュー推進チームの所見に至る過程及び所見	所見	現状通り	詳細	活動の進捗に伴って、どの程度事業の目的を達成しているかを測定する成果目標及び指標の設定について、引き続き努められたい。
所見を踏まえた改善点／概算要求における反映状況	改善点・反映状況	現状通り		
	反映額	会計	勘定	反映額 (千円)
		--	--	--
	詳細	事業の進捗に応じて、事業の効果を測定するために適切な成果目標及び指標を設定するよう努める。		
公開プロセス・秋の年次公開検証（秋のレビュー）における取りまとめ	--			
その他の指摘事項	--			



支出先上位者リスト (単位：千円)	支出先ブロック名			合計支出額	支出先数	事業を行う上での役割	
	A 民間企業			--	1	リアルタイムデジタルツインの試作	
費目・使途 (単位：千円)		支出先名	契約概要（契約名）	費目		使途	金額
	--	--	--	--		--	--
国庫債務負担行為等による契約 先リスト (単位：千円)		契約先名		契約額	法人番号		
		--		--	--		

その他備考

--